



シラバス参照

タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバス-2015年度サテライト科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	紀州郷土学 2B		
担当教員	小山 譽城 吉村 旭輝 海津 一朗 大橋 直義 永瀬 節治		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	時間外	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 実施場所：南紀熊野サテライト（田辺市）		
科目名（英語表記）	Kisyu hometown study 2B		
授業の概要・ねらい	<p>紀伊半島（和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする）地質地形、気候、生物、文化、歴史、自然環境、郷土の学習、保全保護から「郷土：紀伊半島」を考える。地域の独自性を総合的に学べるカリキュラムとする。本科目では地質地形の上に人の営みがあって、現在の紀伊半島の多様性があることを学ぶ。学生、地域づくり、観光関係、地域ガイド、ジオ活動者、教育関係者、Uターン者などをターゲットとする。</p> <p>2Bでは、「紀伊半島の歴史と民俗」～地形や地理的特徴により、地域で育まれた歴史・文化と、地域に継承される民俗や芸能（祭りや獅子舞など）を紹介します。</p>		
授業計画	<p>第1回（12月5日）「熊野古道の歴史 熊野三山と熊野詣、参詣記」（教育学部・大橋） 人々は何を指して熊野へ詣でたのか、参詣と巡礼の熊野詣について考える。</p> <p>第2回（12月12日）「徳川御三家の成立と付家老安藤・水野両家の支配」（非常勤講師・小山） 紀伊徳川家の成立と付家老安藤（田辺領主）・水野（新宮領主）両家の歴史について考察する。</p> <p>第3回（12月19日）「小栗判官物語から読み解く熊野参詣の歴史」（教育学部・海津） 人々はなぜ熊野をめざしたのか？中世物語に描かれた熊野詣を分析して真相に迫る。</p> <p>第4回（12月26日）「説話学と南方熊楠」（教育学部・大橋、ゲスト） 近代説話学の勃興と南方熊楠の学問を考える。</p> <p>第5回（1月23日）「紀伊半島の祭り、獅子舞の分布と特徴」（紀州研・吉村） 紀伊半島の祭りを知る（地理・地形から生まれた歴史、祭、民俗）</p> <p>第6回（1月30日）「地域が育んだ文化遺産の保全と活用」（観光学部・永瀬） 熊野古道や歴史的町並みなど、地域の暮らしに根ざした文化遺産の保全と活用のあり方を考える。</p>		
到達目標			
成績評価の方法	出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。		
教科書	特に定めません。適宜、資料を配布します。		
参考書・参考文献	講義時に適宜、紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。		
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学習についての指示	学んだ事項について、復習と自主的に学習が必要です。		

その他連絡事項



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.